

## ビジョンを語る会（県民との意見交換会）による提案

## 提案概要

開催日：令和2年9月8日

参加者：高砂市銀座商店街関係者

## &lt;主な意見&gt;

(地域外から集客できる観光資源の創出)

- ・観光に力を入れているがうまくいかない。観光を担える人材が育っていない。工楽松右衛門旧宅も改装、再生されたが生かし切れていない。この周辺も高砂や、高砂津運旧社屋や旧脇村家など改修し飲食店に衣替えしているが、人を呼ぶ拠点にはなっていない。
- ・高砂染は古来から高級品で、図柄の発祥は高砂神社。生産は姫路で行われてきた。高砂染のPRを姫路でも行い、高砂の商業や観光にリンクできないかと考えている。
- ・穴子も高砂の名物なのだが地取りの穴子は少なく、姫路や絵島に地位が奪われてしまっている。高砂のブランドとして生かしていきたい。
- ・高砂港から洲本市都志港まで船で訪れたことにより、船での交流の可能性を感じた。船を生かしたまちづくりができないか。高砂と洲本の小学生が交流するイベントの開催や旧工楽邸前の港での乗降も検討してはどうか。
- ・高砂商工会議所について、現在耐震診断をしている。どの程度費用がかかるかわからないが、商工会議所を残して地域活性化に役立てていきたい。
- ・銀座商店街は半分ぐらい閉まっている。本町全体では9割ぐらいが閉まっている。

開催日：令和2年9月8日

参加者：高砂商工会議所青年部

## &lt;主な意見&gt;

- ・高砂海浜公園の中に、明石にあるようなバーベキューサイトやグランピングの施設などがあれば、景色も良いし人が寄ってくる。色々なスポーツが出来る施設やサポーター的な施設があれば、健康の面でも盛り上がる。
- ・医療や観光の分野など、情報通信基盤を活用した取組をしつつ、東播磨の独特のため池など自然豊かな部分を残し、人が繋がっているまちづくりをしていきたい。

(先端技術の活用)

- ・地域 BWA、ICE を活かし、社会を築きつつ、東播磨の独特なため池など自然豊かな部分も残し人が繋がっている街、かつ地域 BWA など医療の活用、人の密集を避けた観光コースが瞬時に出てくるなど、発展的なソサエティ、豊かな人間が形成される街になれば良いと思う。

(古民家活用)

- ・高砂の町をよりよい町にもりあげるために古民家を使ってみたい。レトロな昭和をもう一度作ろうと少しずつ進めている。

開催日：令和 2 年 9 月 1 1 日

参加者：30～40代若手事業家

<主な意見>

- ・地元クリエイティブな施設があれば、若者が地元に戻るきっかけになるのでは。  
(スポーツを活かしたまちづくり)

- ・バスケットコートで新たな公共空間を創りたい。街の風景に溶け込むようにしたい。

- ・アウトドアの遊びを通して地元の人々と繋がりたい。

- ・加古川で川下りを出来るようになれば面白い。

(災害に強いまちづくり)

- ・道路によって管轄が国、県、市町となっていて、電話番号も異なる上に、災害時に連絡が取れないことがある。別々の組織を一つにしたらビジネスチャンスになると思う。兵庫県はすごいなと思われる。

- ・加古川市は AED の設置場所も API と連携している。国や、県、異なる自治体と連携し民間や NPO にも委託しても良いと思う。今はシステムがないが、それが出来たら大きなビジネスチャンスにつながる。

(次代を担う人材の育成)

- ・加古川日岡山にある OAA はりまハイツを活かして、クリエイティブな人材を教育していきたい。OAA は建物が古く廃墟のような見た目なので、下から見たときに行きたくなるような建物にしないといけないと思っている。日岡山にそういうクリエイティブなことをしている人がいると意識していれば、進路に迷って時に地元に戻ってきてくれるようになるのではないかな。

<主な意見>

- ・ JA 明石管内は都市部で都市農業が主体となっている。生産緑地地区の推進を7、8年しているが、明石市がなかなかOKをしてくれない。県の方でも都市農業に関する制度や補助金があれば嬉しい。
- ・ 大麦を何とかしてほしい。二年連続の豊作となって、麦茶の世界がパンクしそう。去年も大分無理をいって買っていたので今年は2割を餌用に振り分けざるを得なかった。餌用の分は交付金の対象とならなくなり、農家の方からすればはしごが外された形になってしまう。
- ・ 4K、高齢化問題、後継者不足、機械の維持管理、固定資産税問題。特に固定資産税が高い。都市近郊型農業を守ろうと、緑を残して貯水をしている。固定資産税をいくらか減免してほしい。
- ・ 放っておくのが一番安くつくからという理由で放棄田がそのままになっている。難しい問題だ。
- ・ 加古川南地域に合った農業を継続するために、農作業の支援事業を展開した。レンタルで草刈り機やトラクターを用意している。少しでも都市近郊型農地を維持していきたい。
- ・ 34%の方は調整区域農地のため、土地を売りたいくても売れないという方もいる。相続が発生すると、どうしても土地を売らざるを得なくなってくる。
- ・ 貸与事業で、JA 兵庫南ではものすごくハウス面積が増えた。だがハウスは面積が知れているので、農地全体を守れるかというところではない。土地利用型が大事。
- ・ 明石では市街化農業が出来なくなったらすぐアパート転用や売却になると思う。
- ・ 放棄田対策で農業経営サポートをしても、かなり厳しい。気を抜くとすぐ赤字になる。
- ・ 少ない農地でも収益をあげていけるような仕組みがあれば「半農半X」という取組が出来るとかと思う。
- ・ 花き農家も管内に数は少ないが、3~5月はイベントの中止等によりかなり影響を受けたと聞く。

(畜産)

- ・ コロナの営業をモロに受けた一つが畜産。ここ1年で肉の値段が下降した。2年前

にある100万円で買った素牛が肉にしたら80万円にしかならなかったという話もある。1年ぐらいこういう状況が続いてくるのではないか。それまで畜産家の経営が保つかどうか本当に心配。

- ・生産緑地地区が増えれば一番良い。

開催日：令和2年12月11日

参加者：高砂商工会メンバー

<主な意見>

- ・まず地域BWAという取り組み、非常に画期的であると我々も認識しております。この辺りのハードをうまく活用した新しい高砂市の未来を選んでいきたい
- ・空き家を活用したいが、所有者に活用する気がない現状では難しい。市の補助などがあれば良い。空き家を減らして産業の誘致などで活用したい。
- ・高砂工業科学技術センターを開設して、大手企業の技術を蓄積させていき、下の世代に託していけるようにしたい。
- ・大企業がいつか高砂から出て行くのではないか。中途半端に税金が高く、高速道路には遠い。大企業が高砂にいてもらえるような支援を県も市も進めて行くべき。
- ・仕事を畳む時に、税制の優遇措置をしていただくなど、安心して幕引きが出来るような支援の方法はないか。
- ・赤字を組合や県、市が補填して支えるようなことも大事ではないか。
- ・地域BWAの整備をただで終わるのではいけない。交通、医療、ツーリング、や個人の買い物に使えるかもしれない。これからの活用法を考えて行くのが大事。生徒へのタブレット配布も同様。持つことで人間形成が育まれるような使い方を考えるべき。

開催日：令和2年12月25日

参加者：東播磨地域若手経営者

<主な意見>

- ・兵庫にゆかりのある社長や企業にお願いして、東京の企業が東播磨に来るような誘致が出来ないものか。
- ・大手企業が3市2町に良い立地がないかと聞いてきているが、県による規制、都市計画法などで使える土地がない。
- ・高砂市内で子どもの遊び場が減ってきている。次世代の青少年のために遊び場も提供していきたい。

- ・県の課題に対して、「産」と「学」が集まる機会やアイデアを抽出する機会を積極的に作っていただきたい。
- ・空き家を使って仕事ができる場を作れば、空き家問題が解決でき、電車の通勤時間を余暇にまわせる。
- ・明石公園の規制を緩めて、更なる活用を。
- ・デジタル推進を地域に広めるとともに、IT 企業を誘致して行ってほしい。
- ・空き家を改修して仕事ができる場を各地域に用意してシェアオフィスやコワーキングスペースとして活用が出来れば通勤の時間を仕事や余暇、家族と過ごす時間にまわせる。
- ・空き家を活用しようとする、調整区域や用途地域の問題が出てくる。解決方法があれば良い。
- ・U ターン政策を充実させてほしい。大学で外に出た学生を地元呼び戻したい。
- ・スキルがない方でも出来る仕事をテレワークで出来るようになれば、引きこもりや主婦でも仕事が家で出来るようになり、8050 問題も解決するのではないか。
- ・地方創生として、中央集中ではなく地方分権の中で過疎地にどう対応していくか。5G が来るのが遅すぎる。
- ・デジタルが進めば進むほどデジタル格差が広がっていくのではないか。
- ・行政が地元の企業を紹介することで、地元での雇用が増えるのではないか。「産」と「学」の連携は取れているので、行政も参画して欲しい。
- ・色々な家族の形に対して、行政がしっかり手を差し伸べてほしい。様々な問題があり、それが子どもを産まないという選択に繋がっている。少子高齢化を解決しないと他の課題も解決しない。
- ・出生率を上げて少子化を改善しないと他の問題を解決することもできない。少子化は一丁目一番地の問題だと感じる。